#### 第33回宮崎県会長杯ミニバスケットボール交歓大会実施要項

```
第33回宮崎県会長杯ミニバスケットボール交歓大会
1 大 会 名
2 主
         一般社団法人宮崎県バスケットボール協会
      催
3 主
         一般社団法人宮崎県バスケットボール協会 U12 部会
4 後
      援
        株式会社大阪フォトサービス 日本教育シューズ協議会
5 協
      カ 株式会社モルテン
6 目
      的(1) 小学生のバスケットボールの技術の向上と選手相互の親睦を図る。
       (2)
           令和元年度の県交歓大会における参加リーグを決定する。
7 期
         令和元年6月22日(土)、23日(日)、29日(土)、30日(日)
8 会
      場
         県体育館, 佐土原体育館, 早水体育館, 山之口体育館, 高崎体育館
         山田町体育館、アリーナ国富
9 役
(1) 大 会 役 員
             上元 康正
   大会会長
   大会副会長
             佐多 裕之 米田 史彦 山川 裕彦
   大会委員長
             河野 光治
   大会副委員長
             兒玉 哲美 岩元 真史
(2) 競技役員
   総務委員長
              上米良 剛
   財務委員長
              福田 紀代美
              北林 順子
   接待委員長
   式典委員長
              外村 哲史
              上園 真輝
   記録・報道委員長
              笠 真人
   審判委員長
   審判委員
              児玉 晃太
              酒井 朋弘
   Co委員長
              久保 真幸
   Co委員
   TO委員長
              川崎健
   TO委員
              外山 和彦
              浅利 敏彦
   競技委員長
   会場委員長
              安藤 正弘
            本薗 忠士 堀内 幸 岡田 美菜子 井上 華澄 久木山 和愛 堀之内 豊
   総務・競技委員
            内山 大岩切 勇二 安藤 正徳 甲斐 修二 山川 和彦 富永 紘光
10 チーム編成
          コーチ1人、アシスタントコーチ2人、マネージャー1人、保護者代表2人、選手15人以内
         とする。(但し、大会1週間前までにJBAへの登録申請済み選手とする。)
         Ⅰ部~Ⅲ部リーグ(男女混成及びJBA登録8名未満のチームは出場できない。)
         ※ ただし、JBA登録選手が10名以下のチームは登録選手全員を出場させること。
         ※ JBA登録選手が10名を超えるチームは、10名以上を出場させること。
         ※ 年度途中に8名を満たした場合は、Ⅲ部リーグに編入する。
         (1) 地区予選の順位により I 部~Ⅲ部に分け、リーグ戦を実施する。
1 1 競技方法
         (2) 予選リーグと決勝リーグを行う。
         (3) パート内の順位決定方法は以下の通りとする。
         ①勝率 ②直接対決の結果 ③直接対決の得失点差 ④直接対決の得点数 ⑤総得失点差
           ただし、Ⅲ部については、直接対決のない場合は、2クオーターの順位決定戦を行う。
12 競技規則 ○ 日本バスケットボール協会ミニバスケットボール競技規則による。
         ただし、試合時間は次の通りとする。
            5分-1分-5分-(3分)-5分-1分-5分 とする。
        ※ TOの際にはルールを熟知した指導者もしくは保護者が子どもたちの後方に必ず立つ。
```

る「マンツーマンディフェンスの基準規則」に則る。

○ ゾーン DF は禁止とする。また、全試合、それを判定するためのコミッショナーをおく。 コミッショナーはコミッショナー委員及び各チーム指導者が行う。規則はJBAから出てい

- 審判の配置は、県協会U12部会審判部がその原案を作成し、県協会審判長の承認のもと に行う。
- 1チームにつき1名、必ず帯同審判を出す。そのライセンスはD級以上、または、審判委員長がその技術を認めたE級とする。チームに該当者がいない場合は、そのチームの責任で前述のライセンス以上の帯同審判を依頼し確保する。なお、それらの帯同審判は、チームの勝ち負けに関わらず、大会全日程で審判ができる者に限る。
- 13 使 用 球 人工皮ボールを使用する。
- 14 経 費 参加料は以下の通り。
  - Ⅰ・Ⅱ部リーグ (15,000) 円、Ⅲ部リーグ (6,000)円
  - ※チームの試合参加に要する経費はチーム負担とする。
- 15 参加申込 「参加申込」及び「参加料納付」については、TeamJBA のシステムより行う。
- 16 代表者会議 代表者会議の日時については、HP 及びメールにて知らせるものとする。代表者会議 には、この大会要項を印刷して持参すること。会場での配布はしない。

17 その他

- (1) 大会プログラムは作成しない。その代わりに、大会プログラムのデータを出場申し込みチームの PC アドレスに返送するので、各チームで必要な部分を印刷して使用すること。
  - ※ 大会プログラム掲載に当たり、各チームで了解を得ておくこと。
- (2) 参加チームはスポーツ障害保険に加入していること。選手のけがについては各チームで処理すること。万一、 事故等が起こっても、主催者側は責任を負わない。
- (3) 会場使用については下記のことを十分に注意することとする。
  - 体育館シューズ (バスケットシューズ) と外ばきのシューズは区別すること。
  - チームの外ばきは、かごやビニール袋等を使って各チームで管理すること。保護者の靴も同様である。
  - 体育館のはしごに登る等、危ない行為は絶対にさせないこと。
  - 各会場、指定された場所のみで応援すること。なお、鳴り物は禁止とする。
  - チームで出したゴミ(弁当殻、飲み物、たばこの吸い殻など)はチームで必ず持ち帰ること。
  - 会場での火気の使用やコンセント等の無断使用は厳禁である。 ※ 上記の事項が守られない場合には、該当チームに没収試合等の厳しい処置が下される。
- (4) ベンチ入りできるのは、パンフレットに記載しているものである。ただし選手のお世話をする保護者代表2名は、この限りではない。お世話係はベンチの椅子に着席することはできない。(指示、指導も禁止)エントリーを変更する際は、変更届を本部に提出する。なお選手ではない中学生以下は、パンフレットに記載があってもベンチ入りはできない。
- (5) 試合中の水分補給は、ベンチ入りが認められている19名すべて、必ずシート上の椅子に着席した状態で行う。また、水の入ったバケツのフロアー(ベンチを含む)への持ち込みは不可。
- (6) ベンチエリアからのビデオカメラや iPad 等での写真撮影や動画撮影は認めない。また、観客席から撮影した動画をネット上に公開することも認められない。
- (7) 駐車場は各チーム5台までとする。駐車券は発行しない。
- (8) 本大会の成績を県交歓大会の組み合わせに反映する。また、各部リーグの上位チームと下位チームの入れ替え戦を実施する。
- (9) 業者によるチームの写真撮影は、自分のチームの試合前に行う。
- (10) 開会式は行わないが、優勝旗とカップ返還及びレプリカ贈呈を前年度優勝チーム(男子:くどみ、女子: 庄内)の初戦の試合前に行う。
- (11) 審判割の左側のチームを淡色のユニホーム着用とし、ベンチはTOに向かって右側とする。 2試合目以降同じ色のユニホームを着用する場合は、両チーム間の話し合いで変更しても良い。 但し、ベンチは色に関係なく審判割の通りとする。
- (12) 駐車可能時刻を8時20分から。フロアーでの練習は会場準備ができ次第とする。
- (13) 試合時間

各会場にて準備開始時間が異なる為、審判割の時間にて行う。会場ごとに開始時間が異なる場合がある。

※ 試合が延びた場合、10分後に次の試合を開始する。

#### (14) 試合日と試合会場

			6月22日	6月23日	
	会場名	コート割り	パート	パート	
1	髙崎体育館	A · B	男子Ⅲ部 I、J、K、L	男子皿部 M、N、O、	
				男子Ⅲ部1位パート①	
2	山田町体育館	C · D	女子Ⅱ部 か、き、く	女子Ⅱ部すべて	
3	山之口体育館	E·F	男子Ⅰ部 A、男子Ⅱ部 H	男子Ⅱ部すべて	
			女子Ⅱ部 け		
4	アリーナ国富	G·H		女子 I 部 う、え	
				女子Ⅲ部 し	
5	宮崎県体育館	Ι·J	男子 I 部 B、C、D	男子I部すべて	
6	早水体育館	K·L	女子I部すべて	女子 I 部 あ、い	
				女子皿部 さ	
7	佐土原体育館	M·N	男子Ⅱ部 E、F、G		

			6月29日	6月30日	
	会場名	コート割り	パート	パート	
1	髙崎体育館	А•В	男子 I 部 2 位リーグ・3 位リーグ	男女 I 部 決勝リーグ	
			男子Ⅰ部Ⅱ部入替戦①		
2	山田町体育館	$C \cdot D$	女子 I 部 2 位リーク・・3 位リーク・	男子Ⅱ部Ⅲ部入替戦③④	
			女子Ⅰ部Ⅱ部入替戦⑤		
3	山之口体育館	E·F	男子Ⅱ部 2位リーグ・3位リーグ	女子Ⅰ部Ⅱ部入替戦⑥	
			男子Ⅰ部Ⅱ部入替戦②	女子Ⅱ部Ⅲ部入替戦⑦⑧	
4	アリーナ国富	G·H	女子Ⅱ部 2位リーグ・3位リーグ		
			男子皿部1位パート②		

#### (14) 別途留意事項

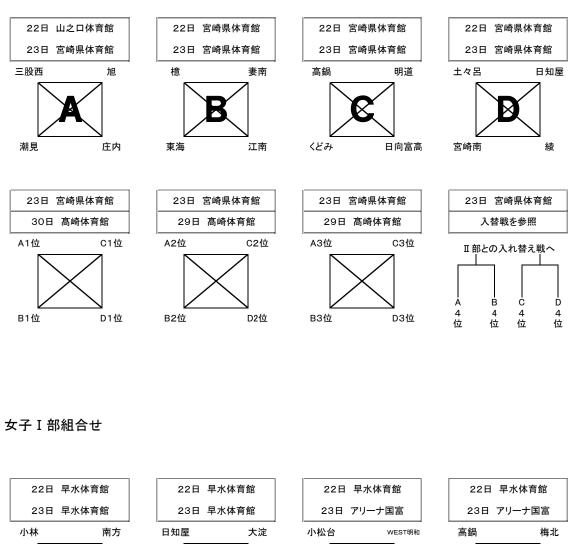
- ① 帯同審判・コミッショナーは、必ず印鑑(シャチハタ不可)を持ってくること。
- ② 指導者またはチーム代表者は、来場したら各会場の本部で受付を行い、ID を受け取ること。
- ③ アリーナ内に立ち入る際は、必ず ID を身につけること。なおアリーナ内に常駐できるのは、指導者と大会役員である。
- ④ 受付の際に、帯同審判、コミッショナーの氏名を申告すること。
- ⑤ 審判は、その日のうちに審判謝金を受け取ること。(翌日以降は支払わない。) その際、旅費日当精算書に、氏名(自署)と住所を記載し、謝金と引き換えに受領印を押印すること。

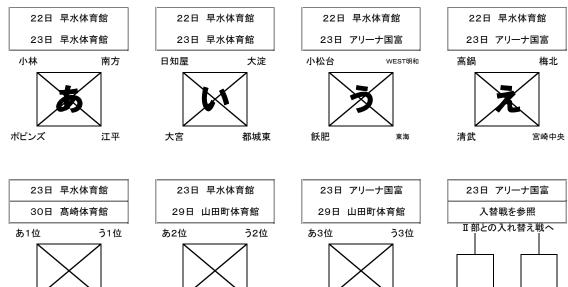
#### 男子 I 部組合せ

い1位

え1位

い2位



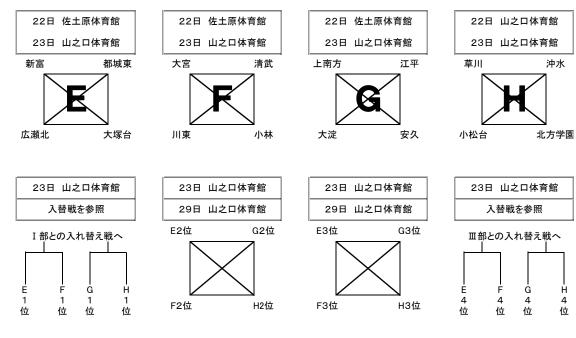


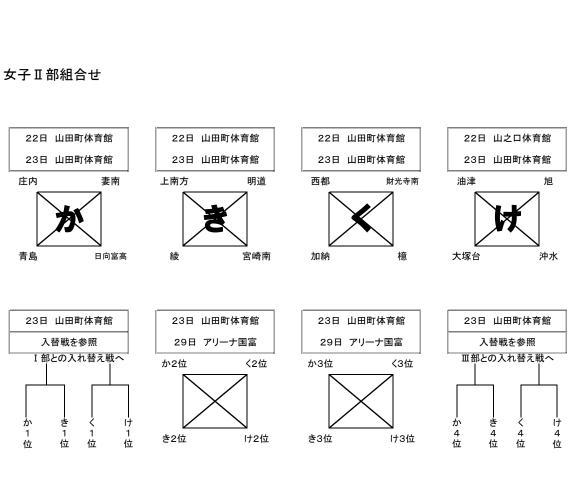
え2位

い3位

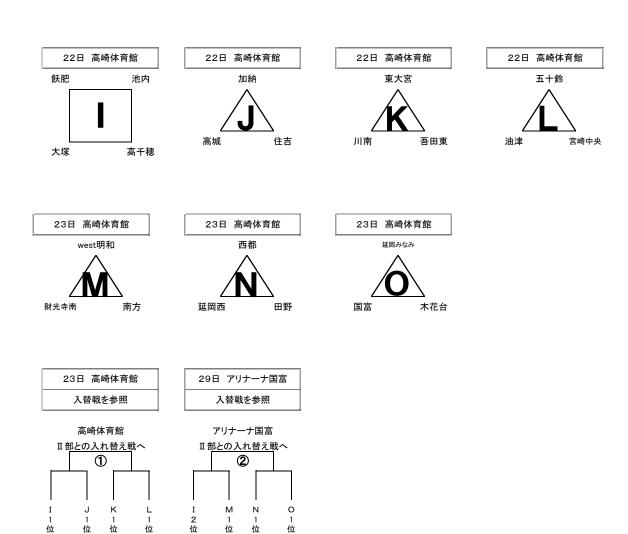
え3位

#### 男子Ⅱ部組合せ

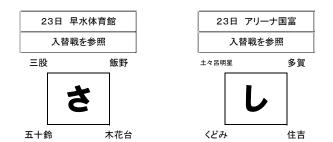




#### 男子皿部組合せ



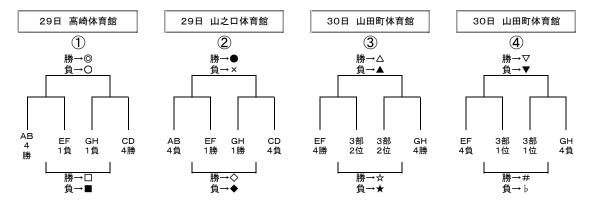
#### 女子Ⅲ部組合せ



#### 男子入替戦組合せ

#### 13~20位決定戦(1部×2部入れ替え戦)

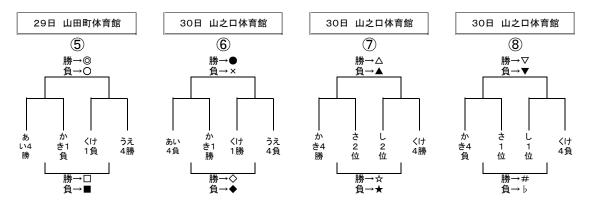
29~36位決定戦(2部×3部入れ替え戦)



#### 女子入替戦組合せ

13~20位決定戦(1部×2部入れ替え戦)

29~36位決定戦(2部×3部入れ替え戦)



## 代表者会議資料

#### 1 第33回県会長杯の競技規則等について

- ○「第33回宮崎県会長杯ミニバスケットボール交歓大会実施要綱」に準ずる。
- O JBA 2019 年度 U12 カテゴリー新ルール変更点 20190401 に準ずる。

#### 2 第33回県会長杯の審判割り当てについて

- リーグ戦方式により、各チームの帯同審判で運営していく。
- 出場チームは、審判ライセンスが D 級以上の方を帯同審判とする。但し、2015年度までに日本公認資格(現在の B 級)を有していた E 級の方は帯同審判として認められる。チームに、D 級以上の審判がいない場合は、各地区や知り合いなどを通して、帯同審判を確保する。旅費、謝礼、弁当代については各チームで決める。帯同審判についても、5 台以内の車台数に含む。
  - ※ 帯同審判用の駐車券はありません。相乗りしていだたくか、チーム内で工夫 してください。
- 割り当ての変更や交代等は勝手に行わないようにする。意見や相談等があれば、必ず審判長に連絡を行う。その後、会場の審判主任と協議する。
- JBA 登録時、審判ライセンス E 級の方を帯同審判に登録しているチームは、 審判長に、誰を D 級以上の帯同審判としたか、事前に連絡する。

#### 3 審判員の方へのお願い

- (1) 基本スタンス「連携と協働」「インテグリティ(誠実)の精神」に則りお願いします。
- (2) 今大会の重点目標は、「ゲームの価値向上」です。
- (3) <u>インテグリティの精神に反していることに関して、テクニカルファウルを取</u>ってください。(駄目なものは駄目という毅然とした態度を示しましょう。)

7 テクニカルファウル(TF)

【JBA プレーコーリング・ガイドライン 20190401】

- (1) <u>ベンチ及びプレーヤーが</u>審判、テーブルオフィシャルズ、相手チーム、 自チーム、観客に対して失礼な態度で接すること(ゲームを尊重する 精神に反する振る舞い)
  - ・<u>コーチが</u>選手(自チーム・他チームを含む)に対して、人権・人格・ 身体的特徴、自尊心等を否定する暴言・暴力的行為

【JBA 2019 年度 U12 カテゴリー新ルール変更点 20190401 より】

- 11 テクニカルファウル(スコアシートの記入法)
  - コーチのテクニカルファウルは(C)、ベンチのテクニカルファウルは (B) と記入する。
- 12 コーチの失格・退場
  - コーチのテクニカルファウル(C)2個で失格・退場とする。
  - ベンチのテクニカルファウル(B)3 個または、ベンチのテクニカルファウル(B)2 個と(C)1 個で失格・退場とする。
  - コーチが失格・退場となっ た場合は、隣の欄に(GD)と記入する。

#### 暴言・暴力的行為によるテクニカルファウルとは

【JBA インテグリティ委員会資料より】

#### 1 コーチのプレーヤーに対する暴言

(1) 人格、人権、存在を否定する言葉

<具体例> 最低、クズ、きもい、邪魔、出ていけ、帰れ、死ね、てめえ、 この野郎、貴様

(2) 自尊心を傷つける、能力を否定する言葉

〈具体例〉 役立たず、下手くそ、アホ、バカ

(3) 身体的特徴をけなす言葉

〈具体例〉 チビ・デブ

(4) 恐怖感を与える言葉

<具体例> 殴るぞ、しばくぞ、ぶっとばすぞ、帰りたいの? 試合出たくないの?

#### 2 コーチの暴力的(攻撃的・虐待的含む)振る舞い(行動・行為)

- (1) 殴る・蹴るなどを連想させる行為
- (2) プレーヤーと近接(顔の目の前、腕一本分より近い距離)して高圧的 威圧的に指導する行為
- (3) 「おい!」「こら!」と大声でプレーヤーを高圧的威嚇的に指導する 行為
- (4) 継続的かつ、度を超えた大声でプレーヤーを指導する行為、いわゆる 怒鳴りつける行為
- (5) 物に当たる、投げる、床を蹴るなどの行為

#### 3 第三者が不快と感じる振る舞い(行動・行為)

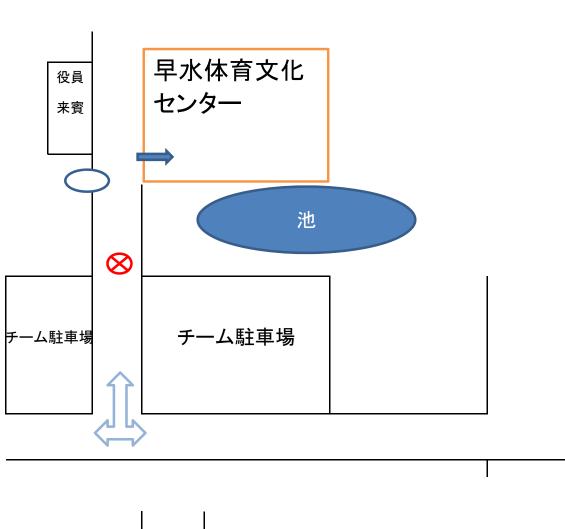
(1) 不潔な服装、裸足やスリッパでの指導

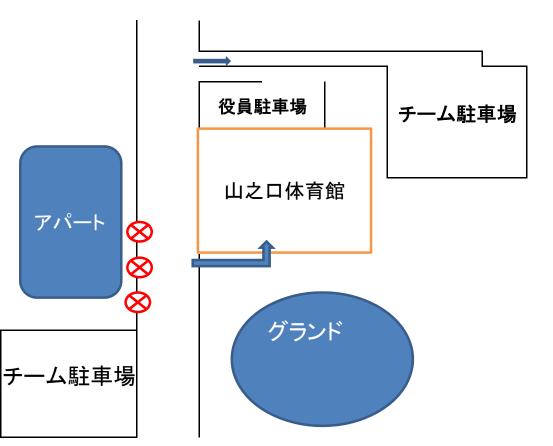
#### 4 指導者の方へ

- (1) 子どもはミスしたくて、ミスしているわけではありません。子どもには、 失敗する権利があります。 完璧なプレイヤーはいません。挑戦したことに対して、指導者は、認め、励ましましょう。 <u>恫喝などして、子どもを委縮させるようなことは、自分のコーチングテクニックがないことを表しています。</u>
- (2) SNS などが進化している時代です。**周りの誰が見ても、気持ちの良い試** 合になるようにしましょう。</u>そのためにも、みんなで声を掛け合い、駄目なものは駄目という考えのもと、声を掛け合っていきましょう。
- (3) 「これまでの指導不足」と自分の責任にすることで、課題に対する解決策を考え、指導に生かすことができます。自分にとっても子どもにとってもWin-Winです。

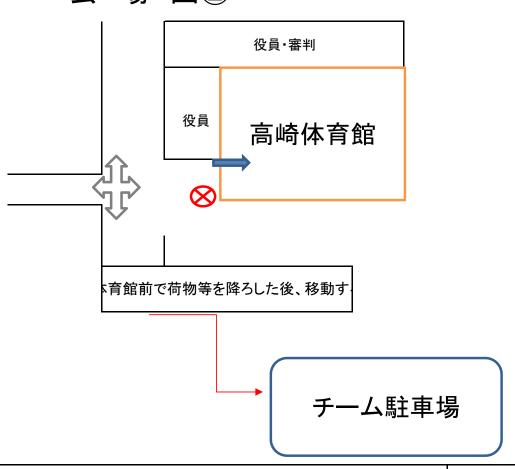
# 指導者が変われば 子どもも変わる ChallengeからChangeへ

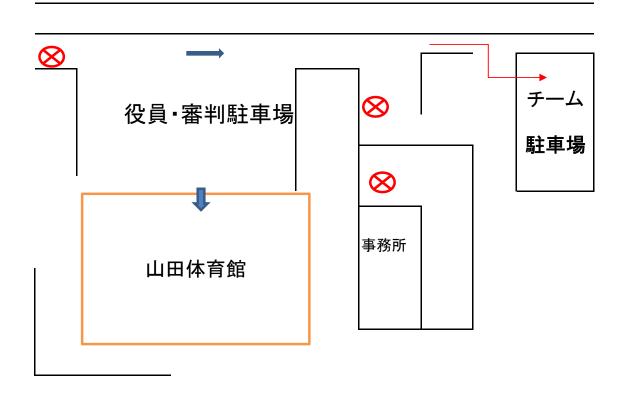
# 会場図①





# 会 場 図②





#### お弁当の申し込みについて

都城給食センターさんの協賛を頂いております。 都城給食センターさんへお弁当注文をお願いいたします。 下記注文書に必要な分の個数をご記入の上、この用紙をFAXにてお送りください 代金は各会場にてお弁当と引き換えにお支払いをお願いします。

### \*大人も子供も 1個450円です。

		注	文	書	_
チーム名					- 男子 ・ 女子
連絡先	申込責任者名	<b>3</b>			
	携帯電話				<u>-</u>

### 大会名 (第33回会長旗杯)

	会場	個数	代金	領収書
1日目				要
6月22日				金額
2日目				要
6月23日				金額
3日目				要
6月29日				金額
4日目				要
6月30日				金額

都城給食センター TEL 0986-23-0356

FAX 0986-23-0435

**申込み期日:6月17日(月) 17:00までにお願いします** なお、3日目、4日目のご注文は**6月24日**までにお願いいたします。